

神戸親和女子大学×神戸電鉄とのコラボ企画 ～きたきた！健康ハイキング～

宮 辻 和 貴

Ⅰ. 本学と神鉄との地域連携協定

令和元（2019）年6月に神戸親和女子大学と神戸電鉄株式会社は、これまで以上に相互連携を強化するために、地域の活性化に資する活動を協力して推進することを目的に、「地域連携と相互協力に関する協定」を締結することとなった。

まず、神戸親和女子大学では、地域貢献のフィールドを神戸電鉄沿線に拡張することで、学生や教員の教育・研究活動の充実につなげるとともに、昨今の地域社会における役割を意識した取り組みを展開するねらいがみられる。同様に、神戸電鉄では、神戸親和女子大学が行う学術研究・教育活動・人材育成に協力するとともに、同学と連携・協力することにより、学生や子育て世代など若い世代の視点を事業運営に活用したうえで、沿線地域の更なる活性化に取り組むことがねらいである。

このように両者は神戸市北区に拠点を擁し、それぞれが安全・安心なコミュニティづくりや地域住民の健康・体力づくりとスポーツ振興等、地域貢献への思いを保持していることから、相互に協議を行う中で、地域連携と相互協力について包括的に合意し、基本協定を締結する運びとなった。今後、相携えて地域貢献、教育・研究・文化の振興、人材育成、スポーツ振興のための事業を行うことで、新たな地域のコミュニティの形成を推進し、地域の活性化を図っていくことが期待されている¹⁾。

Ⅱ. 本学と神鉄との地域連携協定の概要

神戸親和女子大学と神戸電鉄との地域連携協定の概要に関しては、参考資料¹⁾を以下の項目毎に示すこととする。

1. 協定に基づいて実施する事業のイメージ

- ① 安全・安心なコミュニティづくり
- ② 地域文化の伝承
- ③ 地域住民の健康・体力づくりとスポーツ振興
- ④ 地域ボランティア活動
- ⑤ 地域を支える人材育成
- ⑥ その他、人材育成や地域活性化

2. 事業におけるそれぞれの役割のイメージ

- ① 神戸親和女子大学が進める人材育成プログラムの企画・立案に際し、神戸電鉄が管理・運営する施設や実施する事業を活用するとともに、地域のコミュニティの形成や地域の活性化に資するような実行性の向上や充実を図り、より魅力ある人材育成プログラムの構築、実践の場を設けることが主となっている。

- ② 神戸電鉄が管理・運営する施設、実施する事業や媒体で、学生や子育て世代など若い世代の視点を活かし、地域のコミュニティの形成や地域の活性化に資するイベントや施策の実施や情報の発信が主となっている。

3. 構想する具体的な事例

- ① 神戸電鉄沿線の新たな魅力発見プロジェクトの発足
② 神戸電鉄が主催するイベント等への学生ボランティアの派遣や大学との共催
③ 大学が主催するイベント等について神戸電鉄各駅での広報協力
④ 神戸電鉄が行うインターンシップへの神戸親和女子大学学生の受け入れ
- 以上のような地域連携協定に基づく取り組みがなされている。

III. きたきた！健康ハイキング

神戸親和女子大学×神戸電鉄とのコラボ企画である「きたきた！健康ハイキング」は、本学ジュニアスポーツ教育学科の宮辻ゼミを中心に実施されている。

令和元（2019）年度は「再度公園と山田道コース（約10km）」の企画・運営を行った。本学学生の取り組みとしては、参加者に対して出発前に神戸市北区のご当地体操である「きたきた！元気体操」で準備運動（写真1）を行い、ハイキングの休憩地点では疲労回復に効果のある運動時のストレッチ指導に関するアドバイスを実施した（写真2）。



写真1. きたきた！元気体操



写真2. ストレッチ指導

令和2（2020）年度では「再度公園散策コース（約7km）」の企画・運営を行ったが、新型コロナウイルスの影響によりフリーハイキング形式での実施となった。そこで代替案として、今年度は昨年度とは異なり「準備運動やストレッチ指導」ができない状況であったため、ハイキング参加者が撮影した風景写真を集めたモザイクアートを作成する取り組みを行った（写真3・4）。

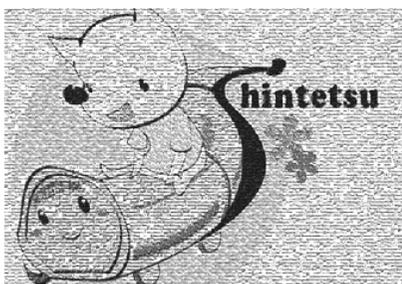


写真3. モザイクアート（神鉄）



写真4. 鈴蘭台駅（宮辻ゼミ学生）

これからも本学と神戸電鉄は地域に根差した活動を行うことで、今後の神戸市北区の地域活性化につながることを期待する。

参考資料

- 1) 神戸親和女子大学・神戸電鉄（2019）神戸親和女子大学と神戸電鉄が「地域連携と相互協力に関する協定」を締結しました。報道機関各位（2019年6月21日）、pp1-3。